

令和6年度 大田区立志茂田小学校 自己評価 報告書

令和7年3月25日

○ 本校の概要

学校経営の基本方針は、「安心・安全で楽しく学ぶ『子どもが主役』の学校」「教職員が情熱と使命感にあふれ、互いに高め合い協働する学校」「地域、保護者から信頼され、地域の教育拠点として、地域、保護者と協働して子どもたちを育む学校」を目指し、今年度、校訓「誰かのために頑張る人となれ」を制定し、人は誰かのためにがんばろうと思え、自分の力を惜しみなく発揮できる。そして、そのことで強く、賢く、たくましく成長できる。成功の反対は失敗ではなく向かいと。チャレンジが成功への第一歩。と、年度初めの始業式にて児童に、保護者等に保護者に、学校運営協議会にて学校運営協議会委員（地域）に報告した。1「知恵を働かせ、深く考えよう」2「人の心を漢字、思いを想像しよう」3「すすんで行動し、挑戦しよう」4「あきらめずにつなげよう」5「自分らしさを発揮しよう」6「力を合わせて成し遂げよう」7「地域を愛し、学校を愛する心をもちよう」の志茂田7則を制定し、児童の自尊感情を育てること、共生社会の一員としての自覚を養うことに基づき、日々の教育活動を行っている。一町会一学校という特長を生かし、地域の皆様、スクールサポート志茂田、PTAと連携協働し、ともに育る教育を大切にしている。令和5年9月1日よりミニミニスクールとしてさらさら地域と一体となった教育を目指し、感染症対策により様々な交流が制限される中、学校ホームページで日々の児童の様子を毎日発信し、志茂田小学校に関わってくださる方々への情報提供を行っている。質の高い学びと心身の健康増進の実現に向け、教職員一丸となって教育活動を推進していく。また、今年度より志茂田中学校との連携活動の一層の充実を図り、児童・生徒が義務教育9年間を通して充実した学校生活を送れるよう学びつくりを行う。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

| 大項目 | 方向性 | 取組内容 | 取組指標 | 取組評価 | 目標に対する成果指標 | 成果評価 | これまでの取組 今後の改善策 | 評価人数 | 学校関係者記入欄 コメント | | |
|---|---|--|---|------|--|-------------------|--|------|---|---|---|
| 生予個 き測り 力難標 をな1 育未 来社 会を 創 造 的 に | 社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。 | ①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。 | 4.「おおむねできた」と全教員が回答した。 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 4 | 4.全員の取組 今後の改善策 | 4.全員の取組 今後の改善策 | ・教科「おおたの未来づくり」先行実践では、第5学年にて「六郷地域を盛り上げよう」第6学年では「たこべったんを広めよう」に取り組んだ。 ・「六郷地域を盛り上げよう」では、西六郷1丁目町会に協働協力して、関係団体と外部連携をもち、お互いがWin-Winの関係で進められた。 ・「たこべったんを広めよう」では、1月18日保育園・幼稚園の園児保護者や他学年の児童に来ていただき、5年生が考えたイベントを開催した。 ・「たこべったんを広めよう」では、1月29日を「たこべったんの日」として、1月18日保育園・幼稚園、教育長へ提案し、承認を得た。たこべったんの日について、マスコミの発表を行い、広くお伝えすることができた。 | A | ○研究実践として、地域を代表するテーマ・課題に取り組み、その結果を出していると感じます。先生方の熱意と努力だけでなく、校長先生の大変なアトスはかかせないものと感謝しています。 ○「おおたの未来づくり」で5年生、6年生がそれぞれのテーマに取り組み、たこべったんはイーヨーカ室と協力し、アイデアを出し、取組まで実現したことは児童の自信にもつながり、今後の成長が楽しみです。 ○志茂田小学校の5年生が「大田の未来づくり」の実践に六郷地域を盛り上げようと考え、西一町会と一緒に何かできないかと町会のためにロコマカー、チャラクター、広報誌等、いろいろなアイデアを出してくれ、町会役員一同は大喜びでありました。 ○引き続き、「六郷地域を盛り上げよう」「たこべったんを広めよう」を旗印とし、長期的に取り組んでいければと思います。志茂田小学校の伝統となる卒業生としても期待、応援、支援いたします。 ○先生方が、生徒に対して一生懸命に指導している姿は、大変素晴らしい活動だと思われ、評価を付けさせていただきました。 ○町会と交流していただき、感謝しています。 ○第6学年、第6学年ともに、目標に向け、児童主体で考える姿、それを支える大人のアトシが見られて成果が出ていると感じます。 | | |
| | | ②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働して課題を解決していく力の育成を図っている。 | 4.「おおむねできた」と全教員が回答した。 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 4 | 4.全員の取組 今後の改善策 | 4.全員の取組 今後の改善策 | ・「たこべったんを広めよう」では、1月29日を「たこべったんの日」として、1月18日保育園・幼稚園、教育長へ提案し、承認を得た。たこべったんの日について、マスコミの発表を行い、広くお伝えすることができた。 | A | ○忙しい合間をぬって、実践されています。素晴らしいと感じます。継続することこそ力となります。今後の課題達成を見守りたいと思います。 ○これからの時代は英語が必須です。英語に慣れ親しむために外国の人と会話をするのは大事です。アメリカの大学の人とオンラインで交流をしたり、スピーチできるような英文を考えたりと、経験出来て良かったと思います。 ○英語力、コミュニケーション能力のさらなる向上・育成を期待しています。 取り組みは大変に素晴らしいので、継続して欲しいと思います。 ○とても良い取り組みだと思います。 ○外国語担当の先生による高学年教室前の英語に関する掲示や外国語指導員と先生方が英語で会話している姿が多く見られ、児童にも良い影響を与えられていると感じました。 | | |
| | | ③情報技術を適切に活用した授業の実践を通して、情報活用能力の育成を図っている。 | 4.「おおむねできた」と全教員が回答した。 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 4 | 4.全員の取組 今後の改善策 | 4.全員の取組 今後の改善策 | ・「たこべったんを広めよう」では、1月29日を「たこべったんの日」として、1月18日保育園・幼稚園、教育長へ提案し、承認を得た。たこべったんの日について、マスコミの発表を行い、広くお伝えすることができた。 | A | ○忙しい合間をぬって、実践されています。素晴らしいと感じます。継続することこそ力となります。今後の課題達成を見守りたいと思います。 ○これからの時代は英語が必須です。英語に慣れ親しむために外国の人と会話をするのは大事です。アメリカの大学の人とオンラインで交流をしたり、スピーチできるような英文を考えたりと、経験出来て良かったと思います。 ○英語力、コミュニケーション能力のさらなる向上・育成を期待しています。 取り組みは大変に素晴らしいので、継続して欲しいと思います。 ○とても良い取り組みだと思います。 ○外国語担当の先生による高学年教室前の英語に関する掲示や外国語指導員と先生方が英語で会話している姿が多く見られ、児童にも良い影響を与えられていると感じました。 | | |
| | | ④おおたの未来づくり科の先行実践を通して、関係団体と外部連携をもち、お互いがWin-Winの関係で進められた。 | 4.「おおむねできた」と全教員が回答した。 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 4 | 4.全員の取組 今後の改善策 | 4.全員の取組 今後の改善策 | ・「たこべったんを広めよう」では、1月29日を「たこべったんの日」として、1月18日保育園・幼稚園、教育長へ提案し、承認を得た。たこべったんの日について、マスコミの発表を行い、広くお伝えすることができた。 | A | ○忙しい合間をぬって、実践されています。素晴らしいと感じます。継続することこそ力となります。今後の課題達成を見守りたいと思います。 ○これからの時代は英語が必須です。英語に慣れ親しむために外国の人と会話をするのは大事です。アメリカの大学の人とオンラインで交流をしたり、スピーチできるような英文を考えたりと、経験出来て良かったと思います。 ○英語力、コミュニケーション能力のさらなる向上・育成を期待しています。 取り組みは大変に素晴らしいので、継続して欲しいと思います。 ○とても良い取り組みだと思います。 ○外国語担当の先生による高学年教室前の英語に関する掲示や外国語指導員と先生方が英語で会話している姿が多く見られ、児童にも良い影響を与えられていると感じました。 | | |
| お世個 界別 た目 づつ 担2 うが 人 材 を 際 育 成 市 し ま す | 英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力的な態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を育成します。 | ①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。 | 4.「おおむねできた」と全教員が回答した。 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 3 | 4.全員の取組 今後の改善策 | 4.全員の取組 今後の改善策 | ・第6学年では、教科「おおたの未来づくり」先行実践に協働協力して、アメリカのグリンデル大学（イオウ州）のオファーにより、たこべったんに関する交流会をオンラインで実施した。その際、たこべったんの取組について、英語でスピーチできるよう、英文を考えたり、英語で伝える練習をしたりして、オンライン交流することができた。 | A | ○忙しい合間をぬって、実践されています。素晴らしいと感じます。継続することこそ力となります。今後の課題達成を見守りたいと思います。 ○これからの時代は英語が必須です。英語に慣れ親しむために外国の人と会話をするのは大事です。アメリカの大学の人とオンラインで交流をしたり、スピーチできるような英文を考えたりと、経験出来て良かったと思います。 ○英語力、コミュニケーション能力のさらなる向上・育成を期待しています。 取り組みは大変に素晴らしいので、継続して欲しいと思います。 ○とても良い取り組みだと思います。 ○外国語担当の先生による高学年教室前の英語に関する掲示や外国語指導員と先生方が英語で会話している姿が多く見られ、児童にも良い影響を与えられていると感じました。 | | |
| | | ②我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力的な態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を育成します。 | 4.「おおむねできた」と全教員が回答した。 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 3 | 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 3 | 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 3 | ・外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。 ・「たこべったんを広めよう」では、1月29日を「たこべったんの日」として、1月18日保育園・幼稚園、教育長へ提案し、承認を得た。たこべったんの日について、マスコミの発表を行い、広くお伝えすることができた。 | A | ○忙しい合間をぬって、実践されています。素晴らしいと感じます。継続することこそ力となります。今後の課題達成を見守りたいと思います。 ○これからの時代は英語が必須です。英語に慣れ親しむために外国の人と会話をするのは大事です。アメリカの大学の人とオンラインで交流をしたり、スピーチできるような英文を考えたりと、経験出来て良かったと思います。 ○英語力、コミュニケーション能力のさらなる向上・育成を期待しています。 取り組みは大変に素晴らしいので、継続して欲しいと思います。 ○とても良い取り組みだと思います。 ○外国語担当の先生による高学年教室前の英語に関する掲示や外国語指導員と先生方が英語で会話している姿が多く見られ、児童にも良い影響を与えられていると感じました。 |
| | | ③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。 | 4.「おおむねできた」と全教員が回答した。 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 3 | 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 3 | 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 3 | ・外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。 ・「たこべったんを広めよう」では、1月29日を「たこべったんの日」として、1月18日保育園・幼稚園、教育長へ提案し、承認を得た。たこべったんの日について、マスコミの発表を行い、広くお伝えすることができた。 | A | ○忙しい合間をぬって、実践されています。素晴らしいと感じます。継続することこそ力となります。今後の課題達成を見守りたいと思います。 ○これからの時代は英語が必須です。英語に慣れ親しむために外国の人と会話をするのは大事です。アメリカの大学の人とオンラインで交流をしたり、スピーチできるような英文を考えたりと、経験出来て良かったと思います。 ○英語力、コミュニケーション能力のさらなる向上・育成を期待しています。 取り組みは大変に素晴らしいので、継続して欲しいと思います。 ○とても良い取り組みだと思います。 ○外国語担当の先生による高学年教室前の英語に関する掲示や外国語指導員と先生方が英語で会話している姿が多く見られ、児童にも良い影響を与えられていると感じました。 |
| | | ④おおたの未来づくり科の先行実践を通して、関係団体と外部連携をもち、お互いがWin-Winの関係で進められた。 | 4.「おおむねできた」と全教員が回答した。 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 3 | 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 3 | 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 3 | ・外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。 ・「たこべったんを広めよう」では、1月29日を「たこべったんの日」として、1月18日保育園・幼稚園、教育長へ提案し、承認を得た。たこべったんの日について、マスコミの発表を行い、広くお伝えすることができた。 | A | ○忙しい合間をぬって、実践されています。素晴らしいと感じます。継続することこそ力となります。今後の課題達成を見守りたいと思います。 ○これからの時代は英語が必須です。英語に慣れ親しむために外国の人と会話をするのは大事です。アメリカの大学の人とオンラインで交流をしたり、スピーチできるような英文を考えたりと、経験出来て良かったと思います。 ○英語力、コミュニケーション能力のさらなる向上・育成を期待しています。 取り組みは大変に素晴らしいので、継続して欲しいと思います。 ○とても良い取り組みだと思います。 ○外国語担当の先生による高学年教室前の英語に関する掲示や外国語指導員と先生方が英語で会話している姿が多く見られ、児童にも良い影響を与えられていると感じました。 |
| た一個 人目 別の 基 礎 3 が な る 性 力 と 能 力 を 成 し 発 揮 す る | 児童・生徒が豊かな人生を生き生きと生きていく上で、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。 | ①道徳科を中心とした各教科等での学習を通して継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。 | 4.「おおむねできた」と全教員が回答した。 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 4 | 4.全員の取組 今後の改善策 | 4.全員の取組 今後の改善策 | ・登校後すぐに行う15分間の朝遊びは、楽しく体を動かすことから、子どもたちが、落ち着き、授業に向かう様子が見られる。 ・大田区小・中学生大会での第一位につながるなど、体力向上につながっている。 ・課題は、一部数名の児童が、朝遊の時間に登校せず、終わってから登校してきており、朝遊びができていない。朝遊びができる時間（8時）に登校してくるよう、再度、家庭へ協力を求めたり、児童に8時に登校するよう伝えることをしていく。 ・大田区学習効果測定の結果から、学力向上が課題である。そのため、特に、算数の基礎知識が積み重なっていくようにする。 | A | ○朝遊びに参加して、元気よく遊んでいる子どもたちが増えたと感じています。嬉しい中、先生たちが一緒に参加している功績かと思っています。外での遊び方、人との関わり方、体の動かし方などができていることで、楽しさが体でわかれば自然と前に向けるようになっていくと思います。頑張ってください。 ○朝の先生の見守りは大変です。15分の朝遊びで体を動かしたあとの、授業が落ち着いてくる。又、体力向上にもつながり、一石二鳥だと思います。 ○学生駅伝大会1位、おめでとうござります。先日のパネル発表を拝見しました。 朝遊の時間に登校できない児童のフォロー（登校できない理由等を引き続き、お願いします。 ○朝あそびが定着していない一部の児童が、朝あそびの時間をのしみに登校できるように願っています。朝日を浴びるだけでも気持ちよく感じるという感覚をぜひ学んでほしいです。 | | |
| | | ②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべての子どもに確かな学力の育成を図っている。 | 4.「おおむねできた」と全教員が回答した。 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 4 | 4.全員の取組 今後の改善策 | 4.全員の取組 今後の改善策 | ・登校後すぐに行う15分間の朝遊びは、楽しく体を動かすことから、子どもたちが、落ち着き、授業に向かう様子が見られる。 ・大田区小・中学生大会での第一位につながるなど、体力向上につながっている。 ・課題は、一部数名の児童が、朝遊の時間に登校せず、終わってから登校してきており、朝遊びができていない。朝遊びができる時間（8時）に登校してくるよう、再度、家庭へ協力を求めたり、児童に8時に登校するよう伝えることをしていく。 ・大田区学習効果測定の結果から、学力向上が課題である。そのため、特に、算数の基礎知識が積み重なっていくようにする。 | A | ○朝遊びに参加して、元気よく遊んでいる子どもたちが増えたと感じています。嬉しい中、先生たちが一緒に参加している功績かと思っています。外での遊び方、人との関わり方、体の動かし方などができていることで、楽しさが体でわかれば自然と前に向けるようになっていくと思います。頑張ってください。 ○朝の先生の見守りは大変です。15分の朝遊びで体を動かしたあとの、授業が落ち着いてくる。又、体力向上にもつながり、一石二鳥だと思います。 ○学生駅伝大会1位、おめでとうござります。先日のパネル発表を拝見しました。 朝遊の時間に登校できない児童のフォロー（登校できない理由等を引き続き、お願いします。 ○朝あそびが定着していない一部の児童が、朝あそびの時間をのしみに登校できるように願っています。朝日を浴びるだけでも気持ちよく感じるという感覚をぜひ学んでほしいです。 | | |
| | | ③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。 | 4.「おおむねできた」と全教員が回答した。 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 4 | 4.全員の取組 今後の改善策 | 4.全員の取組 今後の改善策 | ・登校後すぐに行う15分間の朝遊びは、楽しく体を動かすことから、子どもたちが、落ち着き、授業に向かう様子が見られる。 ・大田区小・中学生大会での第一位につながるなど、体力向上につながっている。 ・課題は、一部数名の児童が、朝遊の時間に登校せず、終わってから登校してきており、朝遊びができていない。朝遊びができる時間（8時）に登校してくるよう、再度、家庭へ協力を求めたり、児童に8時に登校するよう伝えることをしていく。 ・大田区学習効果測定の結果から、学力向上が課題である。そのため、特に、算数の基礎知識が積み重なっていくようにする。 | A | ○朝遊びに参加して、元気よく遊んでいる子どもたちが増えたと感じています。嬉しい中、先生たちが一緒に参加している功績かと思っています。外での遊び方、人との関わり方、体の動かし方などができていることで、楽しさが体でわかれば自然と前に向けるようになっていくと思います。頑張ってください。 ○朝の先生の見守りは大変です。15分の朝遊びで体を動かしたあとの、授業が落ち着いてくる。又、体力向上にもつながり、一石二鳥だと思います。 ○学生駅伝大会1位、おめでとうござります。先日のパネル発表を拝見しました。 朝遊の時間に登校できない児童のフォロー（登校できない理由等を引き続き、お願いします。 ○朝あそびが定着していない一部の児童が、朝あそびの時間をのしみに登校できるように願っています。朝日を浴びるだけでも気持ちよく感じるという感覚をぜひ学んでほしいです。 | | |
| | | ④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。 | 4.「おおむねできた」と全教員が回答した。 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 4 | 4.全員の取組 今後の改善策 | 4.全員の取組 今後の改善策 | ・登校後すぐに行う15分間の朝遊びは、楽しく体を動かすことから、子どもたちが、落ち着き、授業に向かう様子が見られる。 ・大田区小・中学生大会での第一位につながるなど、体力向上につながっている。 ・課題は、一部数名の児童が、朝遊の時間に登校せず、終わってから登校してきており、朝遊びができていない。朝遊びができる時間（8時）に登校してくるよう、再度、家庭へ協力を求めたり、児童に8時に登校するよう伝えることをしていく。 ・大田区学習効果測定の結果から、学力向上が課題である。そのため、特に、算数の基礎知識が積み重なっていくようにする。 | A | ○朝遊びに参加して、元気よく遊んでいる子どもたちが増えたと感じています。嬉しい中、先生たちが一緒に参加している功績かと思っています。外での遊び方、人との関わり方、体の動かし方などができていることで、楽しさが体でわかれば自然と前に向けるようになっていくと思います。頑張ってください。 ○朝の先生の見守りは大変です。15分の朝遊びで体を動かしたあとの、授業が落ち着いてくる。又、体力向上にもつながり、一石二鳥だと思います。 ○学生駅伝大会1位、おめでとうござります。先日のパネル発表を拝見しました。 朝遊の時間に登校できない児童のフォロー（登校できない理由等を引き続き、お願いします。 ○朝あそびが定着していない一部の児童が、朝あそびの時間をのしみに登校できるように願っています。朝日を浴びるだけでも気持ちよく感じるという感覚をぜひ学んでほしいです。 | | |
| 学個 校別 力目 標 教4 師力 を 向 上 さ せ ま す | 校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力や指導力、高い教育実践力、学校の組織的な運営力や向上力、あわせて、教師がやりがいをもてる働きやすい環境づくりを進めます。 | ①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの体系的な充実の視点による授業改善を行っている。 | 4.「おおむねできた」と全教員が回答した。 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 4 | 4.全員の取組 今後の改善策 | 4.全員の取組 今後の改善策 | ・教員の授業力向上では、管理職による年3回の授業観察と、学年で児童向け授業、特に初任者研修を通して、取組授業観察を実施した。 ・区教研部では、積極的に事前研究会や研究授業への参加を促し、取り組んでいる。 ・指導教諭の模範授業参観も、積極的に参加し、授業力向上に取り組んでいる。 ・取組に温度差があるので、多くの教員が取り組むようにする。 | A | ○忙しい合間をぬって熱心に取り組まれていらっしゃるかと感じています。 ○何度か授業参観させて頂きました。先生方の一生懸命さが伝わってきました。色んな研修に参加したりお互いアドバイスあったりしている結果だと感じます。 ○児童の個人差もありますが、分かりやすい授業ができるよう教員間で意見交換を行い、授業力の向上を進めていただければと思います。 ○学年の枠を越え、先生方が授業への工夫を協力している姿が多く見られます。 ○研究発表をお互いに観察することで、よい良い教育環境の整備につながっているのを感じました。 | | |
| | | ②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。 | 4.「おおむねできた」と全教員が回答した。 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 4 | 4.全員の取組 今後の改善策 | 4.全員の取組 今後の改善策 | ・教員の授業力向上では、管理職による年3回の授業観察と、学年で児童向け授業、特に初任者研修を通して、取組授業観察を実施した。 ・区教研部では、積極的に事前研究会や研究授業への参加を促し、取り組んでいる。 ・指導教諭の模範授業参観も、積極的に参加し、授業力向上に取り組んでいる。 ・取組に温度差があるので、多くの教員が取り組むようにする。 | A | ○忙しい合間をぬって熱心に取り組まれていらっしゃるかと感じています。 ○何度か授業参観させて頂きました。先生方の一生懸命さが伝わってきました。色んな研修に参加したりお互いアドバイスあったりしている結果だと感じます。 ○児童の個人差もありますが、分かりやすい授業ができるよう教員間で意見交換を行い、授業力の向上を進めていただければと思います。 ○学年の枠を越え、先生方が授業への工夫を協力している姿が多く見られます。 ○研究発表をお互いに観察することで、よい良い教育環境の整備につながっているのを感じました。 | | |
| | | ③教職員の業務適正化等に取り組む、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。 | 4.「おおむねできた」と全教員が回答した。 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 3 | 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 3 | 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 3 | ・教員の授業力向上では、管理職による年3回の授業観察と、学年で児童向け授業、特に初任者研修を通して、取組授業観察を実施した。 ・区教研部では、積極的に事前研究会や研究授業への参加を促し、取り組んでいる。 ・指導教諭の模範授業参観も、積極的に参加し、授業力向上に取り組んでいる。 ・取組に温度差があるので、多くの教員が取り組むようにする。 | A | ○忙しい合間をぬって熱心に取り組まれていらっしゃるかと感じています。 ○何度か授業参観させて頂きました。先生方の一生懸命さが伝わってきました。色んな研修に参加したりお互いアドバイスあったりしている結果だと感じます。 ○児童の個人差もありますが、分かりやすい授業ができるよう教員間で意見交換を行い、授業力の向上を進めていただければと思います。 ○学年の枠を越え、先生方が授業への工夫を協力している姿が多く見られます。 ○研究発表をお互いに観察することで、よい良い教育環境の整備につながっているのを感じました。 |
| | | ④一人当たり年間3回の授業観察を教員間で見合い、成果と課題を明確にし授業力を高める。 | 4.「おおむねできた」と全教員が回答した。 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 4 | 4.全員の取組 今後の改善策 | 4.全員の取組 今後の改善策 | ・教員の授業力向上では、管理職による年3回の授業観察と、学年で児童向け授業、特に初任者研修を通して、取組授業観察を実施した。 ・区教研部では、積極的に事前研究会や研究授業への参加を促し、取り組んでいる。 ・指導教諭の模範授業参観も、積極的に参加し、授業力向上に取り組んでいる。 ・取組に温度差があるので、多くの教員が取り組むようにする。 | A | ○忙しい合間をぬって熱心に取り組まれていらっしゃるかと感じています。 ○何度か授業参観させて頂きました。先生方の一生懸命さが伝わってきました。色んな研修に参加したりお互いアドバイスあったりしている結果だと感じます。 ○児童の個人差もありますが、分かりやすい授業ができるよう教員間で意見交換を行い、授業力の向上を進めていただければと思います。 ○学年の枠を越え、先生方が授業への工夫を協力している姿が多く見られます。 ○研究発表をお互いに観察することで、よい良い教育環境の整備につながっているのを感じました。 | | |
| た自個 め分 別 目 学 し 標 び を い き 援 い し ま す と 生 き る | 困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えて教育実践をすすめることと、相談機能の充実を図ること、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生活するための学びを支援します。 | ①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導員との連携等を行っている。 | 4.「おおむねできた」と全教員が回答した。 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 4 | 4.全員の取組 今後の改善策 | 4.全員の取組 今後の改善策 | ・学期に1回いじめアンケートを実施し、3年生、5年生にスクールカウンセラーによる全員の面談を行い、早期発見、早期対応を図る。 ・次年度以降も、いじめアンケート、全員の面談を継続する。 | A | ○困難のある児童が年々、増えていると実感。授業に出られない子ども、声のかげ方、投げ方、学校がとっている対策等、状況に応じて知る機会が得られたらと思っています。 ○今後も定期的にいじめアンケートを実施して早期発見、早期対応をお願いします。 ○いじめアンケート、全員の面談は継続的に、問題の早期発見、対応及び相談しやすい環境を構築していただければと思います。 ○友だちとのトラブルは、日々変化があるので、学期に1回のアンケート実施はとても良いことだと思います。 | | |
| | | ②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。 | 4.「おおむねできた」と全教員が回答した。 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 4 | 4.全員の取組 今後の改善策 | 4.全員の取組 今後の改善策 | ・学期に1回いじめアンケートを実施し、3年生、5年生にスクールカウンセラーによる全員の面談を行い、早期発見、早期対応を図る。 ・次年度以降も、いじめアンケート、全員の面談を継続する。 | A | ○困難のある児童が年々、増えていると実感。授業に出られない子ども、声のかげ方、投げ方、学校がとっている対策等、状況に応じて知る機会が得られたらと思っています。 ○今後も定期的にいじめアンケートを実施して早期発見、早期対応をお願いします。 ○いじめアンケート、全員の面談は継続的に、問題の早期発見、対応及び相談しやすい環境を構築していただければと思います。 ○友だちとのトラブルは、日々変化があるので、学期に1回のアンケート実施はとても良いことだと思います。 | | |
| | | ③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。 | 4.「おおむねできた」と全教員が回答した。 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 4 | 4.全員の取組 今後の改善策 | 4.全員の取組 今後の改善策 | ・学期に1回いじめアンケートを実施し、3年生、5年生にスクールカウンセラーによる全員の面談を行い、早期発見、早期対応を図る。 ・次年度以降も、いじめアンケート、全員の面談を継続する。 | A | ○困難のある児童が年々、増えていると実感。授業に出られない子ども、声のかげ方、投げ方、学校がとっている対策等、状況に応じて知る機会が得られたらと思っています。 ○今後も定期的にいじめアンケートを実施して早期発見、早期対応をお願いします。 ○いじめアンケート、全員の面談は継続的に、問題の早期発見、対応及び相談しやすい環境を構築していただければと思います。 ○友だちとのトラブルは、日々変化があるので、学期に1回のアンケート実施はとても良いことだと思います。 | | |
| | | ④学期に1回いじめアンケートや、3年生、5年生にスクールカウンセラーによる全員の面談を行い、早期発見、早期対応を図る。 | 4.「おおむねできた」と全教員が回答した。 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 4 | 4.全員の取組 今後の改善策 | 4.全員の取組 今後の改善策 | ・学期に1回いじめアンケートを実施し、3年生、5年生にスクールカウンセラーによる全員の面談を行い、早期発見、早期対応を図る。 ・次年度以降も、いじめアンケート、全員の面談を継続する。 | A | ○困難のある児童が年々、増えていると実感。授業に出られない子ども、声のかげ方、投げ方、学校がとっている対策等、状況に応じて知る機会が得られたらと思っています。 ○今後も定期的にいじめアンケートを実施して早期発見、早期対応をお願いします。 ○いじめアンケート、全員の面談は継続的に、問題の早期発見、対応及び相談しやすい環境を構築していただければと思います。 ○友だちとのトラブルは、日々変化があるので、学期に1回のアンケート実施はとても良いことだと思います。 | | |
| 安柔個 心軟 な で 目 教 育 創 造 6 環 境 な を 学 習 空 間 と す 安 全 | 学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備をすすめることと、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。 | ①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。 | 4.「おおむねできた」と全教員が回答した。 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 4 | 4.全員の取組 今後の改善策 | 4.全員の取組 今後の改善策 | ・ICT担当教員が、ICTサポーターの協力を得て、ICT研修会を計画・実施した。今年度、新たに導入された「デジタル教材」については、どのようなものか知り、使い方を身に付けるため、研修計画を変更して取り組んだ。その結果、教員が使い方を理解し、ICT能力の向上が図れた。現在は、オンライン教材以外のアプリや機能も活用し、ほぼ毎日、授業で活用している。 ・本年度は、使用タブレット端末が変更になることから、改めて研修計画を立案して研修を実施し、授業で活用できるように取り組む。 | A | ○選れることなく、頼りすぎせず、平均的に使用し、時と場合と状況に合わせて活用できたらと思います。 ○ICT担当教育がサポーターの協力を得て、ICT研修会を実施した結果、ICT能力の向上につながったと思います。 ○IT技術は著しいスピードで進んでいますが、教員皆様のITリテラシーの向上と児童への適切なネット（スマホ）利用、ネットマナー等の指導、啓発をお願いします。 ○スクサポがボランティアで入る授業でもタブレット使用の機会があります。 ○研修への参加までいかずとも、簡単な使用方法など教えていただけたら幸いです。 | | |
| | | ②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。 | 4.「おおむねできた」と全教員が回答した。 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 4 | 4.全員の取組 今後の改善策 | 4.全員の取組 今後の改善策 | ・ICT担当教員が、ICTサポーターの協力を得て、ICT研修会を計画・実施した。今年度、新たに導入された「デジタル教材」については、どのようなものか知り、使い方を身に付けるため、研修計画を変更して取り組んだ。その結果、教員が使い方を理解し、ICT能力の向上が図れた。現在は、オンライン教材以外のアプリや機能も活用し、ほぼ毎日、授業で活用している。 ・本年度は、使用タブレット端末が変更になることから、改めて研修計画を立案して研修を実施し、授業で活用できるように取り組む。 | A | ○選れることなく、頼りすぎせず、平均的に使用し、時と場合と状況に合わせて活用できたらと思います。 ○ICT担当教育がサポーターの協力を得て、ICT研修会を実施した結果、ICT能力の向上につながったと思います。 ○IT技術は著しいスピードで進んでいますが、教員皆様のITリテラシーの向上と児童への適切なネット（スマホ）利用、ネットマナー等の指導、啓発をお願いします。 ○スクサポがボランティアで入る授業でもタブレット使用の機会があります。 ○研修への参加までいかずとも、簡単な使用方法など教えていただけたら幸いです。 | | |
| | | ③年5回程度、校内ICT研修会を実施し、教員のICT推進力の向上を図る。 | 4.「おおむねできた」と全教員が回答した。 3.80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2.60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1.「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。 | 4 | 4.全員の取組 今後の改善策 | 4.全員の取組 今後の改善策 | ・ICT担当教員が、ICTサポーターの協力を得て、ICT研修会を計画・実施した。今年度、新たに導入された「デジタル教材」については、どのようなものか知り、使い方を身に付けるため、研修計画を変更して取り組んだ。その結果、教員が使い方を理解し、ICT能力の向上が図れた。現在は、オンライン教材以外のアプリや機能も活用し、ほぼ毎日、授業で活用している。 ・本年度は、使用タブレット端末が変更になることから、改めて研修計画を立案して研修を実施し、授業で活用できるように取り組む。 | A | ○選れることなく、頼りすぎせず、平均的に使用し、時と場合と状況に合わせて活用できたらと思います。 ○ICT担当教育がサポ | | |